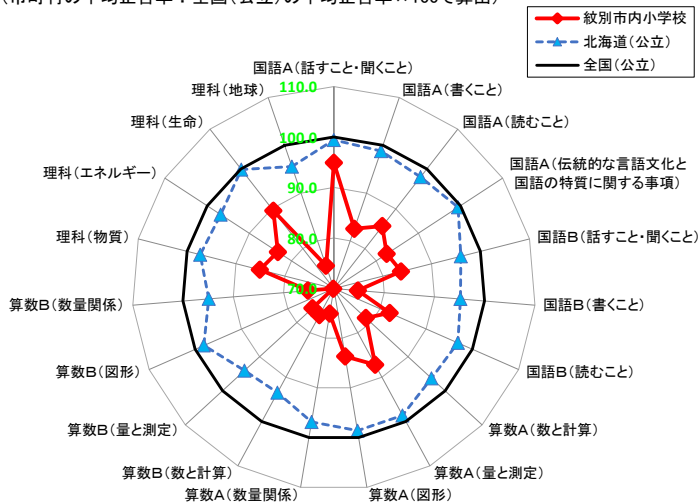


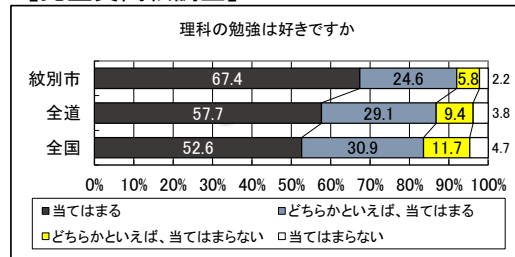
■紋別市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、児童数:138人)

【教科全体の状況】

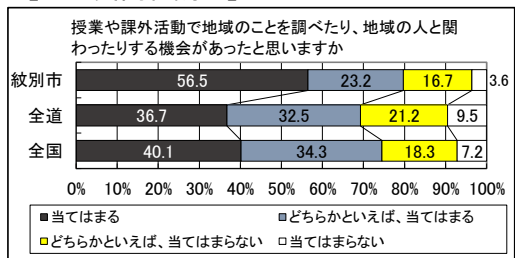
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



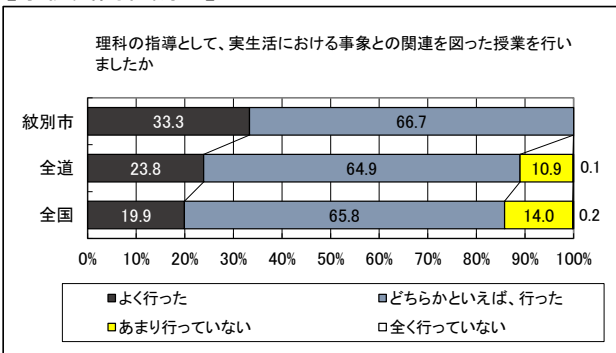
【児童質問紙調査】



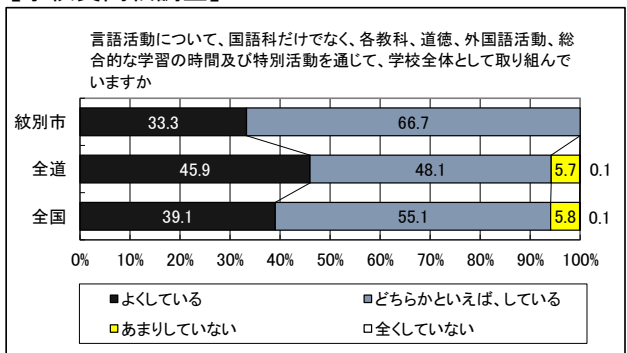
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生命」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、「理科の勉強は好き」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の勉強は好き」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課外活動等で地域の人との関わりをもつ機会を設定するなど、国語科だけでなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体で言語活動の取組の充実を図ったことにより、国語Aの「話すこと・聞くこと」の領域で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「言語活動について、国語科だけでなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 	

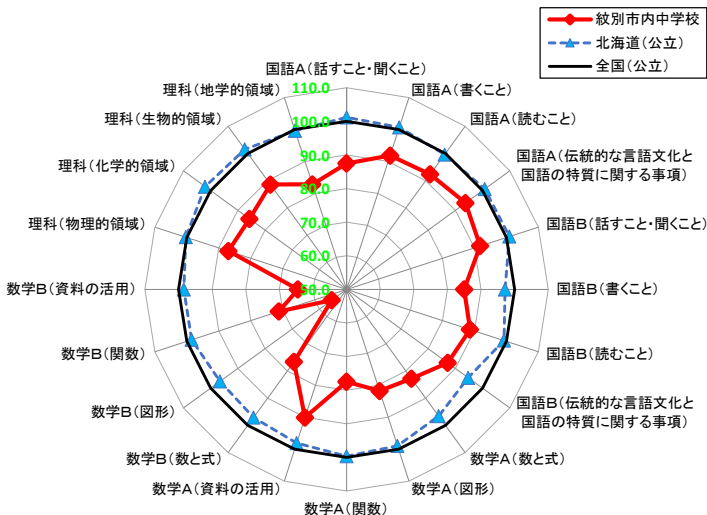
【紋別市の学力向上策】

- ◎ 「子ども未来塾」の開催
- ◎ 小学校学習サポーターの導入
- ◎ 「家庭教育ガイドブック」及び「教員用家庭学習ガイドブック」の配付
- ◎ 教職員研修事業の推進
- ◎ 授業改善推進チーム活用事業の推進
- ◎ 小中連携ネットワーク会議の実施
- ◎ 学習サポーター・高校生ボランティアによる「夏休みパワーアップタイム」の実施(補充授業)

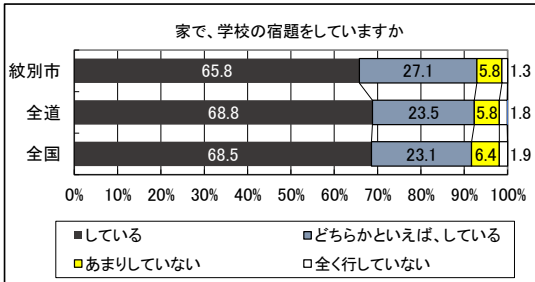
■紋別市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:156人)

【教科全体の状況】

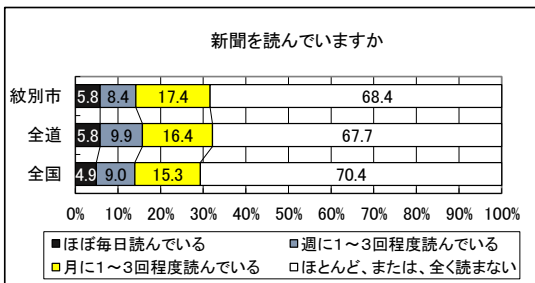
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



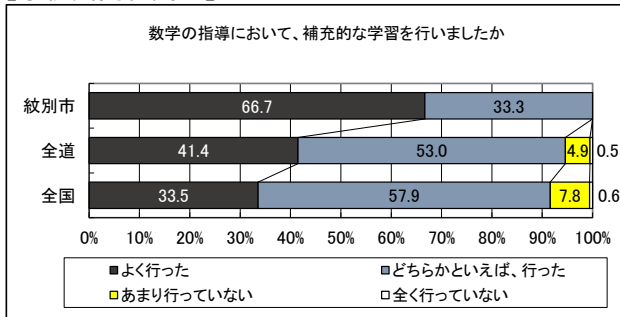
【生徒質問紙調査】



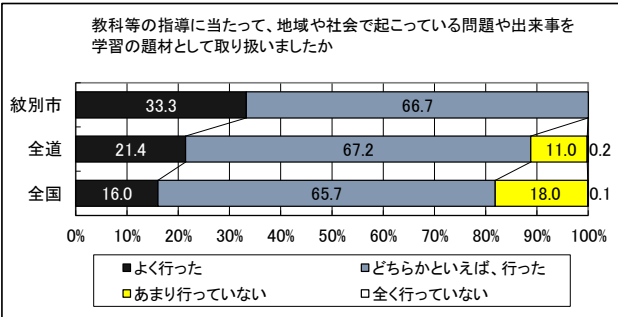
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞を読む習慣を身に付けさせたり、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱ったりすることにより、国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で学校の宿題をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「新聞をほぼ毎日、週に1～3回程度読んでいる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導において、補充的な学習を行ったり、宿題を提示することにより、数学Aの「資料の活用」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「数学の指導において、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【紋別市の学力向上策】

- ◎ 「子ども未来塾」の開催
- ◎ 中学校学習サポーターの導入
- ◎ 「家庭教育ガイドブック」の配付
- ◎ 教職員研修事業の推進
- ◎ 授業改善等支援事業の推進
- ◎ 小中連携ネットワーク会議の実施
- ◎ iPadを活用した学習サポーターによる「学紋塾」の実施(毎週土曜日)